

黒潮町公共施設等に関する町民アンケート調査  
集 計 結 果 報 告 書

平成29年2月

## 目次

1. アンケート調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 実施の状況.....	1
2. 集計結果（単純集計）.....	2
(1) 公共建築物の利用状況についての設問.....	2
(2) 今後の公共建築物・インフラ施設のあり方についての設問.....	4
(3) 回答者の属性についての設問.....	12
3. 集計結果（クロス集計）.....	16
3. 1 居住地別集計.....	16
(1) 公共建築物の整備のクロス集計（問3）.....	16
(2) インフラ施設の整備のクロス集計（問4）.....	17
(3) 財政が不足した場合の対処法についてのクロス集計（問5）.....	18
(4) 施設を減らす場合の検討についてのクロス集計（問6）.....	19
(5) 重要であると思われる公共建築物についてのクロス集計（問6）.....	20
3. 2 年齢別集計.....	21
(1) 公共建築物の整備のクロス集計（問3）.....	21
(2) インフラ施設の整備のクロス集計（問4）.....	22
(3) 財政が不足した場合の対処法についてのクロス集計（問5）.....	23
(4) 施設を減らす場合の検討についてのクロス集計（問6）.....	24
(5) 重要であると思われる公共建築物についてのクロス集計（問6）.....	25

## 1. アンケート調査の概要

### (1) 調査の目的

全国的にも公共施設等の老朽化が課題となる中、本町においても公共施設等の維持更新などに必要な経費は将来的に増加し、この公共施設等にかかる経費の確保が大きな課題となることが予想されます。将来的な財政負担の軽減や健全な町民生活の維持を図るためにも、公共施設等にかかる総合的な管理の検討が必要となっています。

公共施設等全体を把握し、公共施設等の機能を適正に維持しつつ、また、将来の需要に柔軟に対応し、次世代の町民への負担をできる限り軽減する効率的・効果的な公共施設等の管理の基本方針を明確にした公共施設等の最適な管理を行うための計画の作成を行っています。

このアンケートは、計画の作成にあたり、公共施設等に関する町民の意見を収集、分析を行い、町民の公共施設等に関する意識の把握を行うために実施したものです。

### (2) 実施の状況

アンケートの実施状況は以下のとおりとなっています。

配布数・対象	黒潮町内18歳以上を対象に3,000票配布
実施時期	平成28年6月30日発送 7月21日回収締切
発送・回収方法	郵送による発送・回収
回収状況	総回収票数 963票 回収率 32.1%

## 2. 集計結果（単純集計）

以下に各設問の集計結果を整理します。

なお、集計結果として整理していますグラフや表に表示された割合（％）は、端数処理の関係で合計値が100（％）にならない場合があります。

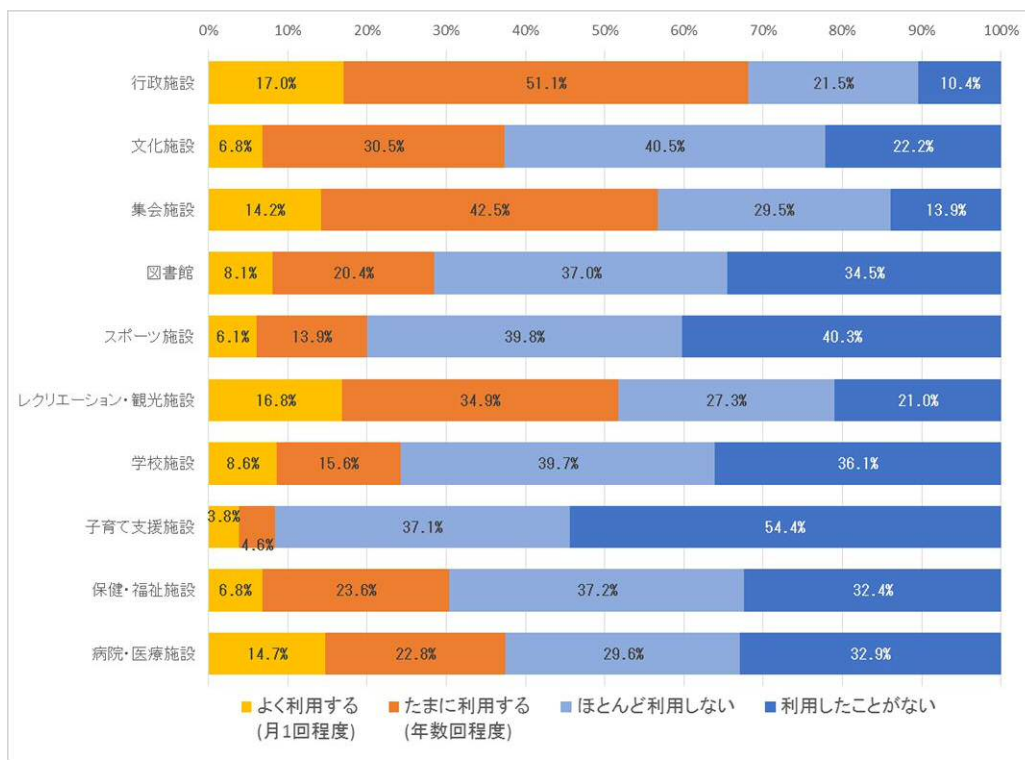
### （1）公共建築物の利用状況についての設問

【問1-1】あなたは次の公共建築物をどのくらい利用していますか。利用状況を施設分類ごとに1つ選択（1つに○）してください。

### 【利用状況】

○「行政施設」については、「よく利用する」・「たまに利用する」との回答が68%と最も多く、「集会施設」、「レクリエーション・観光施設」についても半数を超えています。その他の施設については「ほとんど利用しない」・「利用したことがない」との回答が半数以上となっています。

施設分類	よく利用する (月1回程度)		たまに利用する (年数回程度)		ほとんど利用しない		利用したことがない		有効回答数
行政施設	148	17.0%	445	51.1%	187	21.5%	91	10.4%	871
文化施設	58	6.8%	259	30.5%	344	40.5%	189	22.2%	850
集会施設	123	14.2%	369	42.5%	256	29.5%	121	13.9%	869
図書館	69	8.1%	174	20.4%	316	37.0%	294	34.5%	853
スポーツ施設	51	6.1%	117	13.9%	335	39.8%	339	40.3%	842
レクリエーション・観光施設	143	16.8%	296	34.9%	232	27.3%	178	21.0%	849
学校施設	73	8.6%	132	15.6%	337	39.7%	306	36.1%	848
子育て支援施設	32	3.8%	39	4.6%	313	37.1%	459	54.4%	843
保健・福祉施設	59	6.8%	204	23.6%	322	37.2%	280	32.4%	865
病院・医療施設	131	14.7%	203	22.8%	263	29.6%	293	32.9%	890

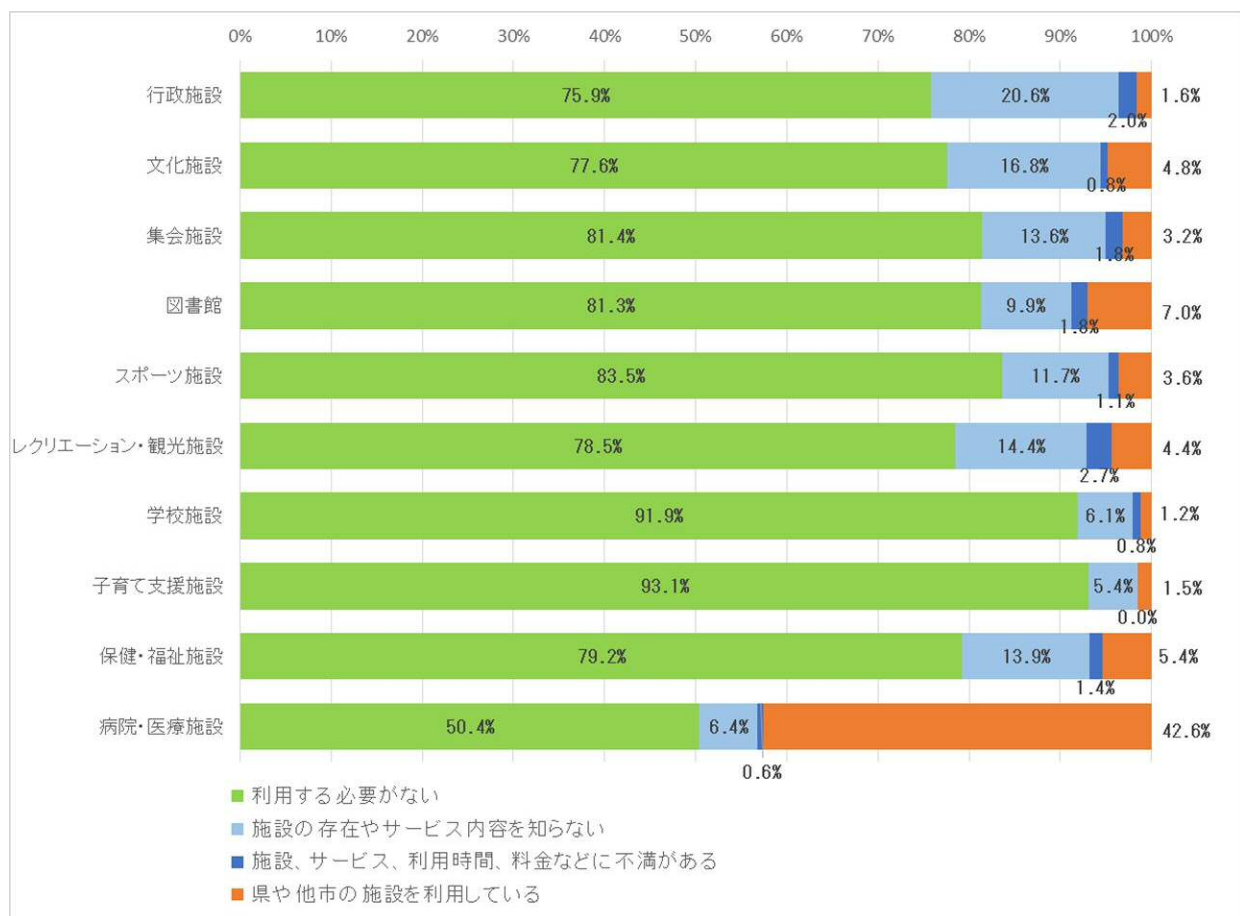


【問1-2】また、「3.ほとんど利用しない」、「4.利用したことがない」と回答された施設分類については、代表的な理由を1つ選択（1つに○）してください。

## 【利用していない理由】

○利用しない代表的な理由は、すべての施設で「利用する必要がない」が最も多く、次いで「施設の存在やサービス内容を知らない」の理由が多くなっていますが、「病院・医療施設」については、「県や他市の施設を利用している」という回答が多くなっています。

施設分類	利用する必要がない		施設の存在やサービス内容を知らない		施設、サービス、利用時間、料金などに不満がある		県や他市の施設を利用している		有効回答数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
行政施設	192	75.9%	52	20.6%	5	2.0%	4	1.6%	253
文化施設	389	77.6%	84	16.8%	4	0.8%	24	4.8%	501
集会施設	276	81.4%	46	13.6%	6	1.8%	11	3.2%	339
図書館	444	81.3%	54	9.9%	10	1.8%	38	7.0%	546
スポーツ施設	512	83.5%	72	11.7%	7	1.1%	22	3.6%	613
レクリエーション・観光施設	288	78.5%	53	14.4%	10	2.7%	16	4.4%	367
学校施設	544	91.9%	36	6.1%	5	0.8%	7	1.2%	592
子育て支援施設	670	93.1%	39	5.4%	0	0.0%	11	1.5%	720
保健・福祉施設	438	79.2%	77	13.9%	8	1.4%	30	5.4%	553
病院・医療施設	260	50.4%	33	6.4%	3	0.6%	220	42.6%	516

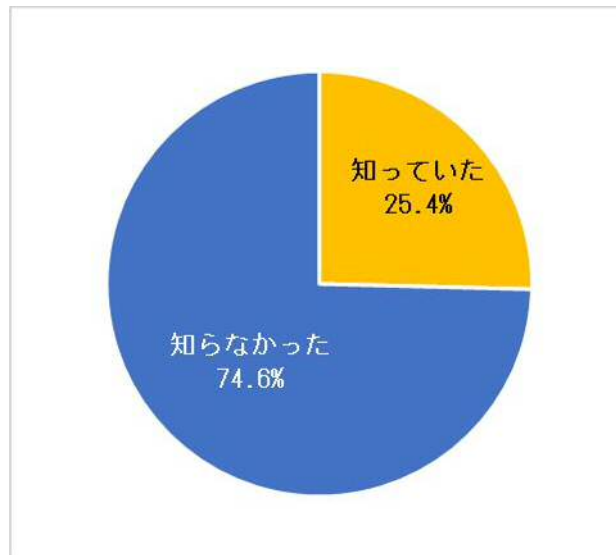


## (2) 今後の公共建築物・インフラ施設のあり方についての設問

【問2】先にお読みいただいた『黒潮町の公共施設等を取りまく現状と課題』の内容を、ご存知でしたか。【1つに○】

○知らなかったと回答された方が約75%を占めています。

選択肢	回答数	割合
知っていた	234	25.4%
知らなかった	686	74.6%
有効回答数	920	100.0%
無回答	43	-
合計	963	-

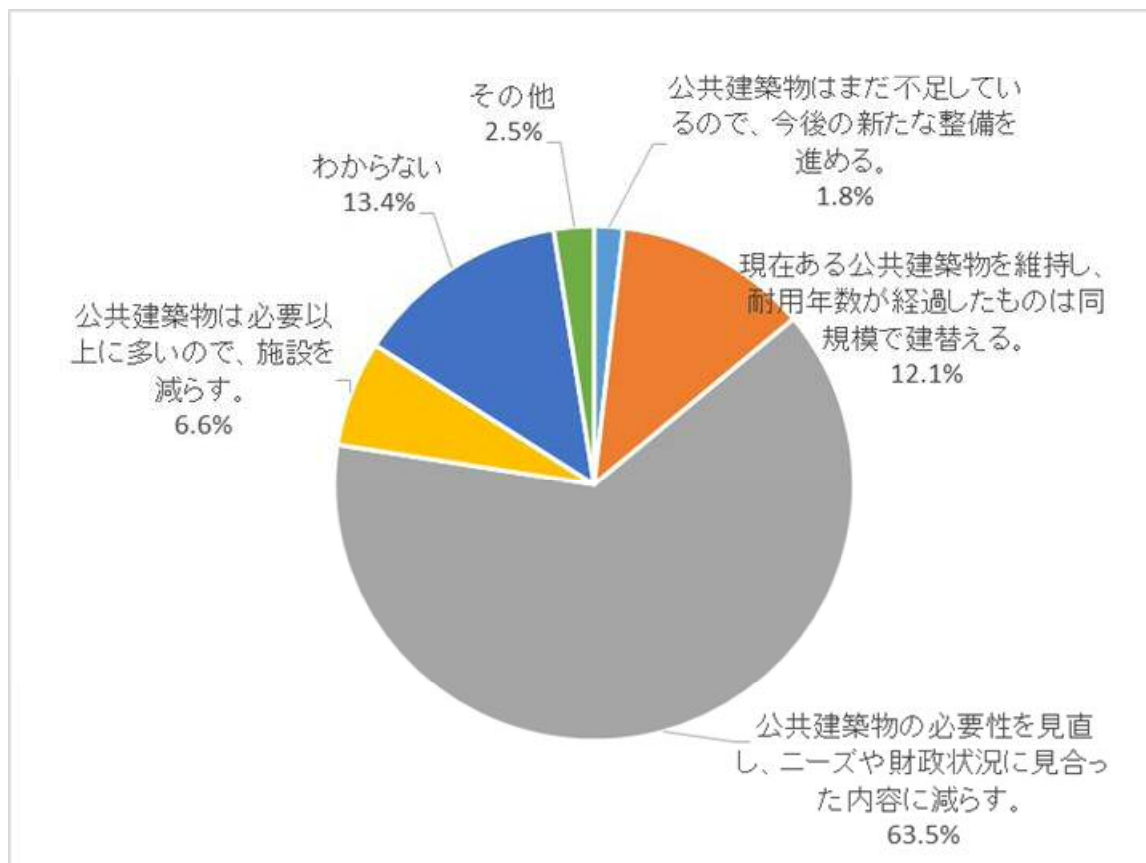


【問3】 少子高齢化が進み、町財政が厳しくなる一方で、今ある公共施設等をすべて維持していくためには今後より多くの費用が必要となることが見込まれます。このような状況をふまえて、公共建築物の整備は、今後どのように進めていくべきだと思いますか。【1つに○】

○「公共建築物の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす」(63.5%)が最も多く、「わからない」(13.4%)と「現在ある公共建築物を維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える」(12.1%)が続いています。

選択肢	回答数	割合
公共建築物はまだ不足しているので、今後の新たな整備を進める。	17	1.8%
現在ある公共建築物を維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。	115	12.1%
公共建築物の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。	603	63.5%
公共建築物は必要以上に多いので、施設を減らす。	63	6.6%
わからない	127	13.4%
その他	24	2.5%
有効回答数	949	100.0%
無回答	14	-
総計	963	-

※有効回答数：複数回答を含む

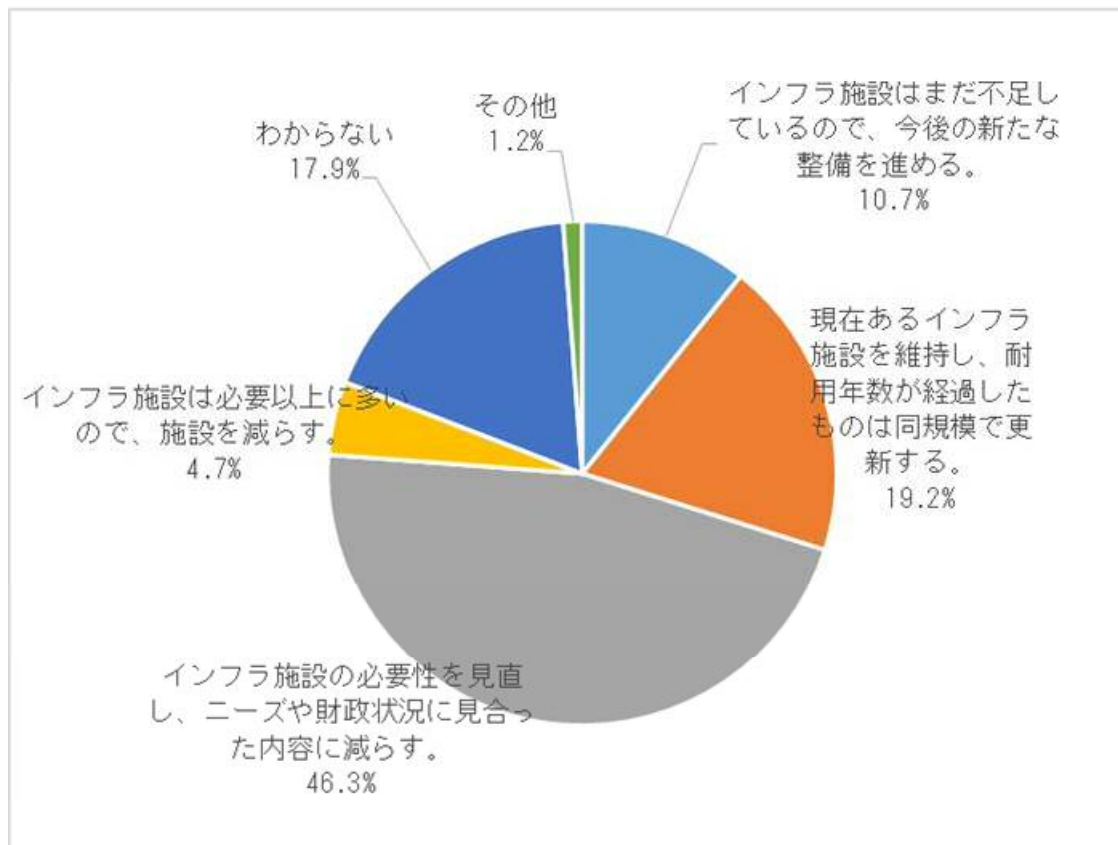


【問4】インフラ施設の整備については、今後どのように進めていくべきだと思いますか。【1  
つに○】

○「インフラ施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす」(46.3%)が最も多く、次いで「現在あるインフラ施設を維持し、耐用年数が経過したものは同規模で更新する」(19.2%)となっています。

選択肢	回答数	割合
インフラ施設はまだ不足しているので、今後の新たな整備を進める。	101	10.7%
現在あるインフラ施設を維持し、耐用年数が経過したものは同規模で更新する。	181	19.2%
インフラ施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。	437	46.3%
インフラ施設は必要以上に多いので、施設を減らす。	44	4.7%
わからない	169	17.9%
その他	11	1.2%
有効回答数	943	100.0%
不明	20	-
総計	963	-

※有効回答数：複数回答を含む





【問5】公共建築物・インフラ施設の維持更新費用の増大が予測される中で、財源が不足する場合、どうすればよいと思われますか。【3つまで○】

○「施設の統廃合や機能の複合化を進める」が最も多く、次いで「民間に運営を任せるなど、民間のノウハウや資金を活用する」、「近隣自治体と共同で施設の運営、維持活動を行う」となっています。

選択肢	回答数
施設の有料化や利用料の値上げを行う。	149
施設の統廃合や機能の複合化を進める。	568
近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う。	286
民間に管理運営を任せるなど、民間のノウハウや資金を活用する。	298
地域に密着した施設は地元住民等が維持管理を行う。	218
古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る。	223
増税等を行い、町民全体で更新費用を負担する。	14
他の行政サービスを見直しても、利用者の負担は増やすべきではない。	231
その他	27

※3つ以上○の回答がある場合、その回答も参入している。

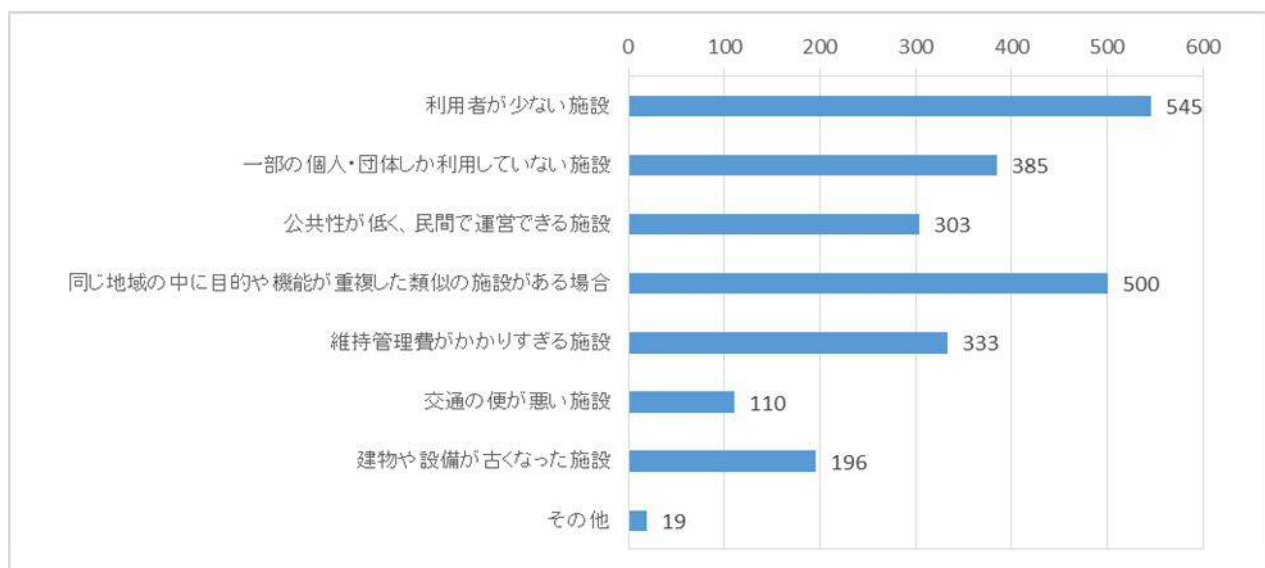


【問6】今後、公共建築物にかかる維持更新費用をさらに削減するために、施設を減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から検討していけばよいと思われますか。【3つまで○】

○「利用者が少ない施設」が最も多く、次いで「同じ地域の中に目的や機能が重複した類似施設がある場合」「一部の個人・団体しか利用していない施設」となっています。

選択肢	回答数
利用者が少ない施設	545
一部の個人・団体しか利用していない施設	385
公共性が低く、民間で運営できる施設	303
同じ地域の中に目的や機能が重複した類似の施設がある場合	500
維持管理費がかかりすぎる施設	333
交通の便が悪い施設	110
建物や設備が古くなった施設	196
その他	19

※3つ以上○の回答がある場合、その回答も参入している。

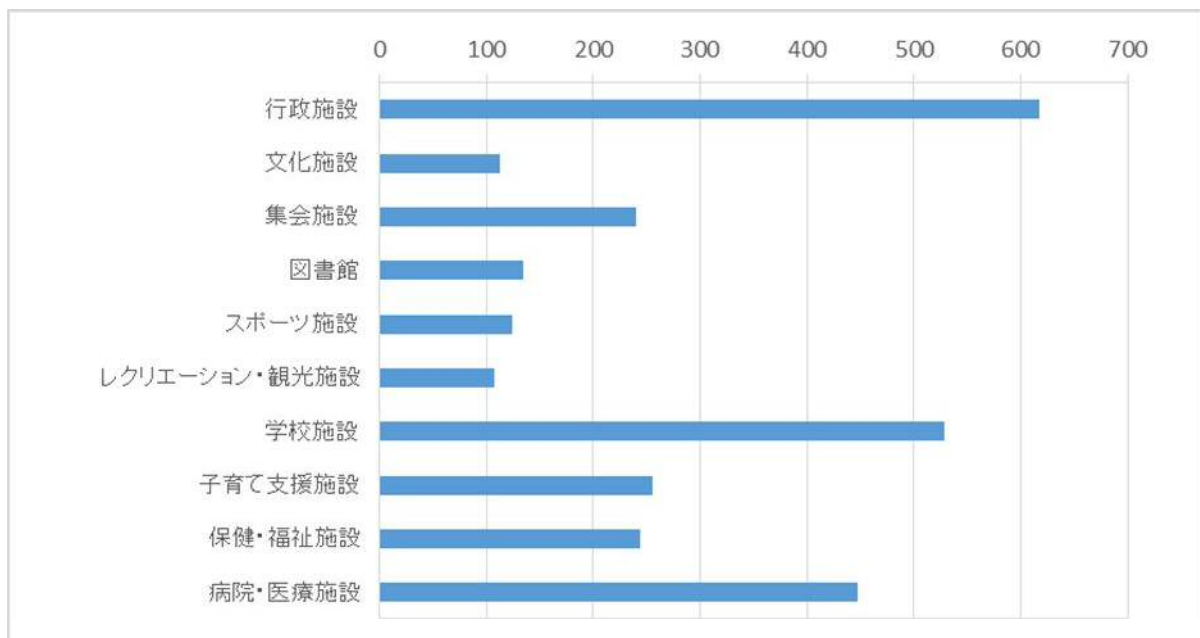


【問7】あなたが特に重要である（今後も残していくべきである）と思われる公共建築物について、下表の施設分類の中から選択してください。【3つまで○】

○重要であると思われる施設は「行政施設」が最も多く、次いで「学校施設」「病院・医療施設」が多くなっています。

選択肢	回答数
行政施設	617
文化施設	112
集会施設	240
図書館	135
スポーツ施設	124
レクリエーション・観光施設	107
学校施設	529
子育て支援施設	256
保健・福祉施設	244
病院・医療施設	448

※3つ以上○の回答がある場合、その回答も参入している。



【問 8】公共建築物・インフラ施設の今後のあり方について、ご意見があればお聞かせください。

- ・ 運転免許が町内で更新できる所があればよい。
- ・ ケガをしても夜間に行ける病院がない。
- ・ とにかく仕事がない。
- ・ 自分のまわりでも結婚をしていない人がほとんどだ。
- ・ なんの夢も希望もない町だ。
- ・ 毎日がつまらん！
- ・ サーファーが道端で裸になったり体に入れ墨が入っていたり、見苦しい。
- ・ 将来の世代そんな物はない！
- ・ 併用可能な施設や場所、施設を一か所にまとめることは管理のロスや連絡の不便さの軽減につながると思う。
- ・ 集会施設、学校施設、子育て支援施設など特に地区に根付いたものは一箇所に固める事により、集会施設が開いている際は学校施設、子育て支援施設が利用しやすくなり、集会施設に集まる年配者にも若年者との交流を図りやすくなると思う。
- ・ 少子高齢化の時代の為、高齢者ばかりの施設を増やしても、子供の受け入れができない町で出産・育児をしようと思わない。
- ・ 高齢者も若年者との交流を増加できるメリットもある。
- ・ 施設の中身を充実させて施設の数を減らすことは必要だと思う。
- ・ NPO法人しいのみ等が活動を広げていけたらすばらしい。
- ・ 今迄通りでいい。
- ・ 福祉施設・障害者施設をもう少し増やして欲しい。
- ・ すべて必要なものであり、除外すべきものはない。
- ・ 大震災（特に津波、山津波）対策を忘れないこと。
- ・ 問 5 に関連して〈公共建築物の場合〉老朽化、更新する場合には、施設の統廃合、機能複合化によりメンテナンスコスト、ランニングコストを効率化できるのでは。
- ・ 機能複合化により、多職種連携も目指すべきだ。
- ・ 立地条件は、震災対応を万全に考えておくこと重要。
- ・ 財源不足という事で重要な公共物の管理が難しいと言うのはおかしい。
- ・ 町は一番大事なことにまじめに取り組んでいない。
- ・ 職員の仕事の効率化等にももっと取り組むべき。
- ・ 残業を少なくするにはどうしたらいいか考えるべき。
- ・ 財源不足をなんでも町民に先にいうべきではなく、もっと組織的に取り組みを行うべき。
- ・ 公共・インフラ施設はとても必要なものであるため、町はもっとまじめに維持方向に向けて考えるべき。
- ・ 本当に黒潮町は他の町（例えば構原町）などと比べると取り組み方が本当に甘いとしか思えない。
- ・ もっと自らがどうしたらいいか町長を中心に考えて下さい。"
- ・ 可能な限り幹線道路からのアクセスの容易な場所、あるいは町中心に公共建築物を統廃合・複合化し、維持管理・運営も合理化する。

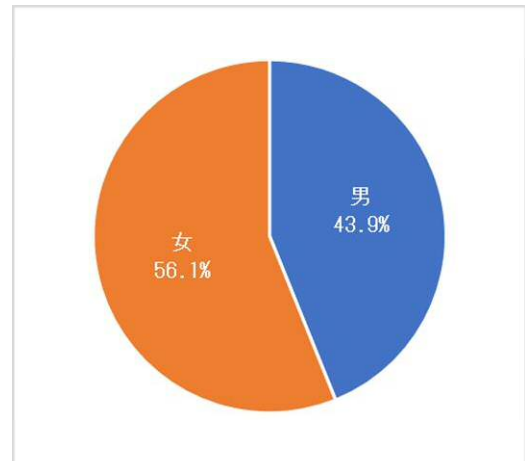
- ・施設等において利用者の少ない物は統廃合をする。
- ・各地区に1つという考えをなくす。
- ・インフラ施設においては最後まで残す必要があると考える。
- ・高知県全体が人口減少が続いているが、特に黒潮町は若者の減少がひどく高齢者の多い地区である。
- ・漁師も今は漁がない。
- ・何年経っても道路は広くならない。
- ・病院は高齢者にはきつい環境になっている。
- ・公共施設も古い所が多く衰退の一途である。
- ・役場は仕事時間に会話する暇があれば自分たちの町を良くするようなアイデアを考え頑張って欲しい。
- ・給料も私たちから見ると、私たちの税金を使っているのに貰い過ぎである。
- ・ボーナスもない所が多く昇給もない所が多いのが現状である。
- ・税金を上げる事しか考えないで、自分の身を削って給料を下げそれで補うような考えを持ってもらいたい。
- ・公共施設の種類のうち、比較的床面積の多い産業系施設と公営住宅は、アンケートの施設分数（問7）中どこに分類されるのか。
- ・公共建設物整備の見直しが行われれば当然これらの施設も見直しの対象になるのでしょうか。
- ・見直すのならば全ての公共施設を公平に見直していただきたい。
- ・公営住宅は空き家を利用するという方向でも良い。
- ・もう80才にもなったオジイで今後の事はわからない。
- ・若い職員様のお知恵で良い町になりますよう考えていただきたい。"
- ・家の前の橋のガードレールのボルト、ナット等が外れている所が多く年数もかなり経っている。
- ・「今後のあり方について」の以前にこの住民アンケートについての疑問を感じた。
- ・あまりにも大雑把な設問。
- ・「行政施設」が重要であるのは当然だと思う。
- ・その規模や内容については、現状がこうであり、人口減少に伴い将来的にはどの程度の規模が妥当かという数字に表される様な資料が必要。
- ・町の職員の中にはそういう部署があり、公共施設の管理、将来の見通しなどを把握しているはずだ。
- ・そういう方からのたたき台となる資料を提示すべきだ。
- ・このようなアンケートを町民の3分の1近くの人に行って集計したとしても役に立つアンケート結果になるのだろうか。
- ・もう少しねらいを明確にしたアンケートを実施すべきだ。
- ・特に「問7」などはどういう意図か。
- ・3つに○を入れるとしたら全く○の入らない施設についてどういう分析をするつもりだろうか。
- ・結果についてはどのような形で公表されるのか。

## (3) 回答者の属性についての設問

【問9】あなたの性別を教えてください。【1つに○】

○男女比は、男性 43.9%(414名)、女性 56.1%(528名)で、やや女性の回答数が多い状況となっています。

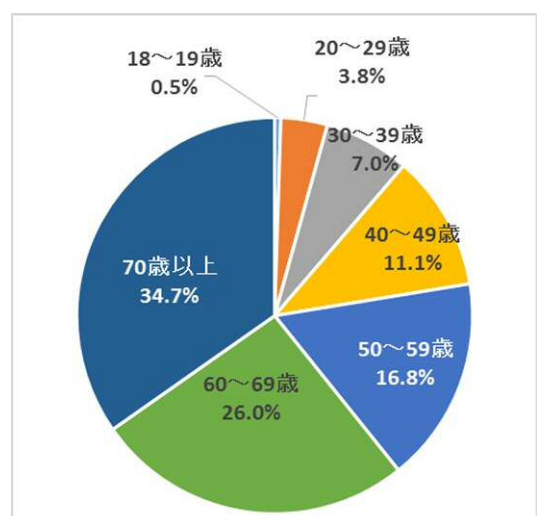
選択肢	回答数	割合
男	414	43.9%
女	528	56.1%
有効回答数	942	100.0%
無回答	21	-
合計	963	-



【問10】あなたの年齢を教えてください。【1つに○】

○年齢別の回答状況は、60歳代と70歳以上が全体の約60.7%で半数以上となり、次いで50歳代が16.8%、40歳代が11.1%、30歳代が7.0%です。10歳代～20歳代の回答数は全体の4.3%となっています。

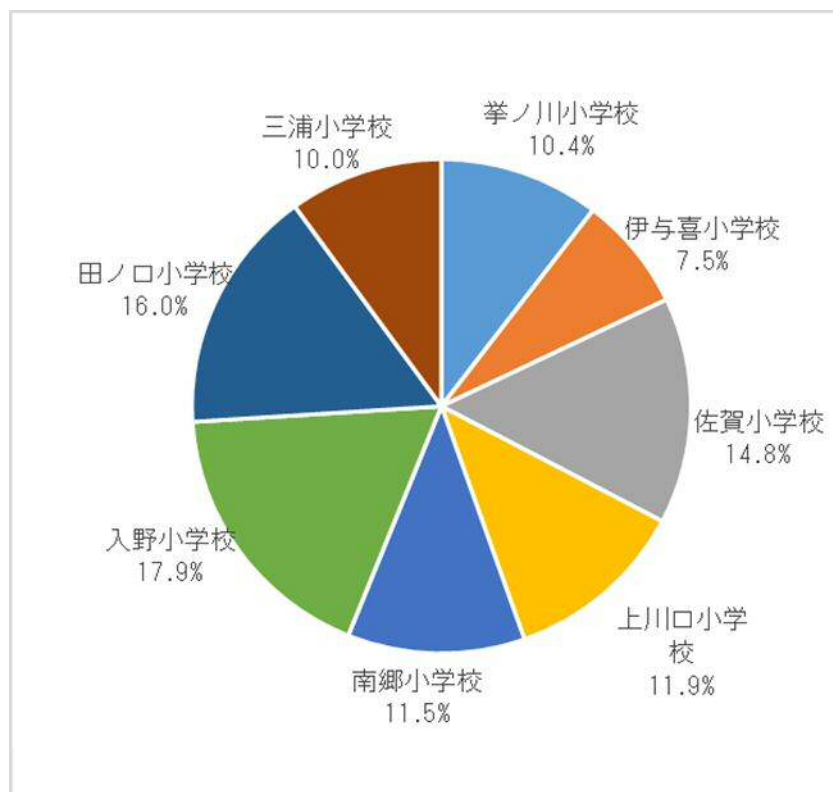
選択肢	回答数	割合
18～19歳	5	0.5%
20～29歳	36	3.8%
30～39歳	66	7.0%
40～49歳	105	11.1%
50～59歳	159	16.8%
60～69歳	245	26.0%
70歳以上	328	34.7%
有効回答数	944	100.0%
無回答	19	-
総計	963	-



【問 1 1】 あなたがお住まいの小学校区と地区名を教えてください。【1 つに○+地区名記入】

○「入野小学校」、「田ノ口小学校」、「佐賀小学校」がやや多くなっていますが、全体的に大きな偏りはありません。

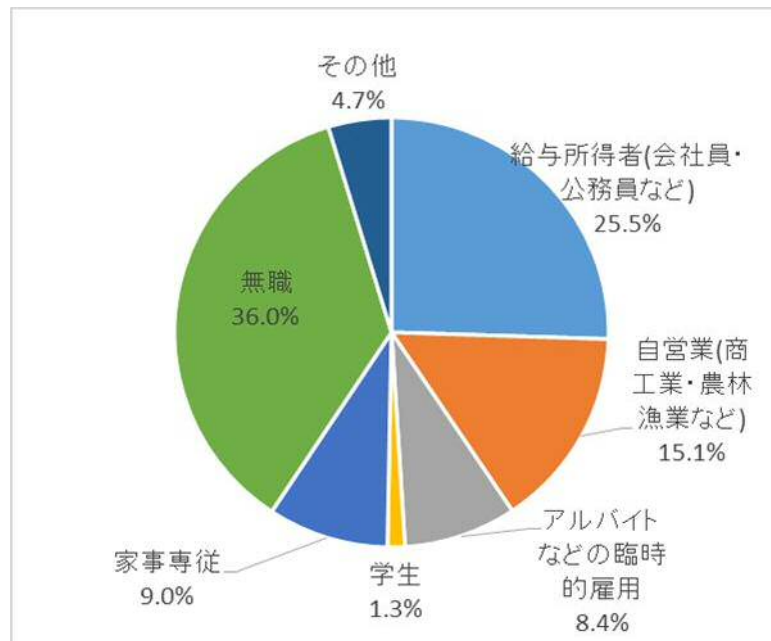
選択肢	回答数	割合
拳ノ川小学校	93	10.4%
伊与喜小学校	67	7.5%
佐賀小学校	132	14.8%
上川口小学校	106	11.9%
南郷小学校	102	11.5%
入野小学校	159	17.9%
田ノ口小学校	142	16.0%
三浦小学校	89	10.0%
有効回答数	890	100.0%
無回答	73	-
総計	963	-



## 【問12】あなたの職業を教えてください。【1つに○】

○回答者の職業は、「無職」(36.0%)が最も多く、次いで「会社員・公務員」(25.5%)となっています。

選択肢	回答数	割合
給与所得者(会社員・公務員など)	237	25.5%
自営業(商工業・農林漁業など)	141	15.1%
アルバイトなどの臨時的雇用	78	8.4%
学生	12	1.3%
家事専従	84	9.0%
無職	335	36.0%
その他	44	4.7%
有効回答数	931	100.0%
無回答	32	-
総計	963	-

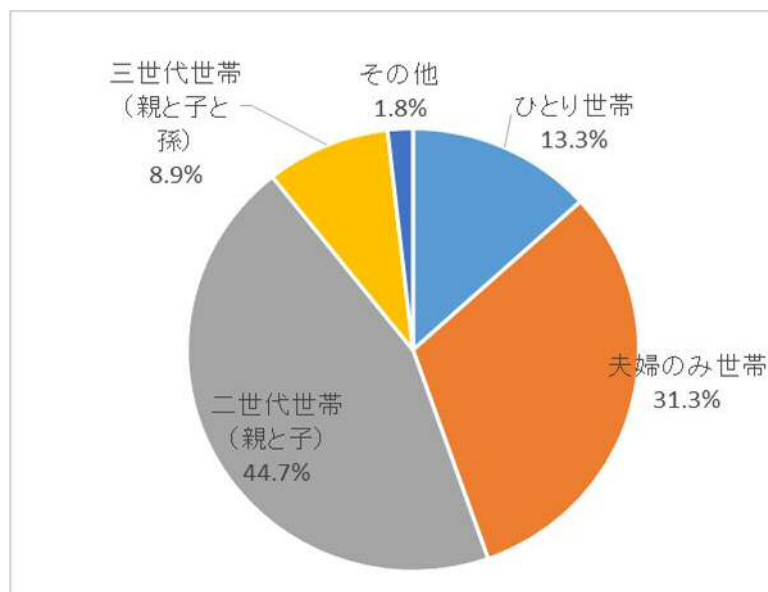




【問13】あなたの家族構成を教えてください。【1つに○】

○家族構成は「親と子が同居(二世代会帯)」(44.7%)が最も多く、次いで「夫婦のみ(一世代会帯)」(31.3%)となっています。

選択肢	回答数	割合
ひとり世帯	124	13.3%
夫婦のみ世帯	292	31.3%
二世代会帯(親と子)	417	44.7%
三世代会帯(親と子と孫)	83	8.9%
その他	17	1.8%
有効回答数	933	100.0%
無回答	30	-
総計	963	-



3. 集計結果（クロス集計）

3. 1 居住地別集計

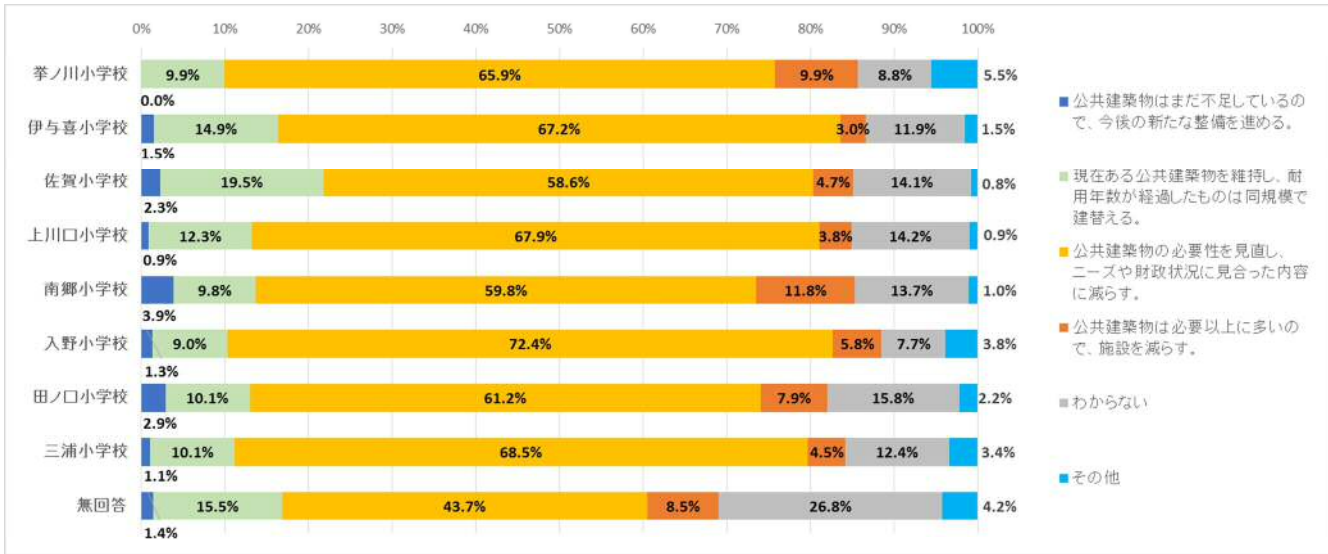
(1) 公共建築物の整備のクロス集計（問3）

【問3】 少子高齢化が進み、町財政が厳しくなる一方で、今ある公共施設等をすべて維持していくためには今後より多くの費用が必要となることが見込まれます。このような状況をふまえて、公共建築物の整備は、今後どのように進めていくべきだと思いますか。【1つに○】

【居住地別】

○小学校区別に見ても全体的な意向に大きな違いは見られませんが、佐賀小学校区では「現在規模の維持」、拳ノ川・南郷小学校区では「現況でも施設が必要以上に多いため減らす」という意見が比較的多くなっています。

施設分類	拳ノ川小学校		伊与喜小学校		佐賀小学校		上川口小学校		南郷小学校		入野小学校		田ノ口小学校		三浦小学校		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
公共建築物はまだ不足しているので、今後の新たな整備を進める。	0	0.0%	1	1.5%	3	2.3%	1	0.9%	4	3.9%	2	1.3%	4	2.9%	1	1.1%	1	1.4%
現在ある公共建築物を維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。	9	9.9%	10	14.9%	25	19.5%	13	12.3%	10	9.8%	14	9.0%	14	10.1%	9	10.1%	11	15.5%
公共建築物の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。	60	65.9%	45	67.2%	75	58.6%	72	67.9%	61	59.8%	113	72.4%	85	61.2%	61	68.5%	31	43.7%
公共建築物は必要以上に多いので、施設を減らす。	9	9.9%	2	3.0%	6	4.7%	4	3.8%	12	11.8%	9	5.8%	11	7.9%	4	4.5%	6	8.5%
わからない	8	8.8%	8	11.9%	18	14.1%	15	14.2%	14	13.7%	12	7.7%	22	15.8%	11	12.4%	19	26.8%
その他	5	5.5%	1	1.5%	1	0.8%	1	0.9%	1	1.0%	6	3.8%	3	2.2%	3	3.4%	3	4.2%
有効回答数	91	100.0%	67	100.0%	128	100.0%	106	100.0%	102	100.0%	156	100.0%	139	100.0%	89	100.0%	71	100.0%
無回答	2	-	0	-	4	-	0	-	0	-	3	-	3	-	0	-	2	-
合計	93	-	67	-	132	-	106	-	102	-	159	-	142	-	89	-	73	-



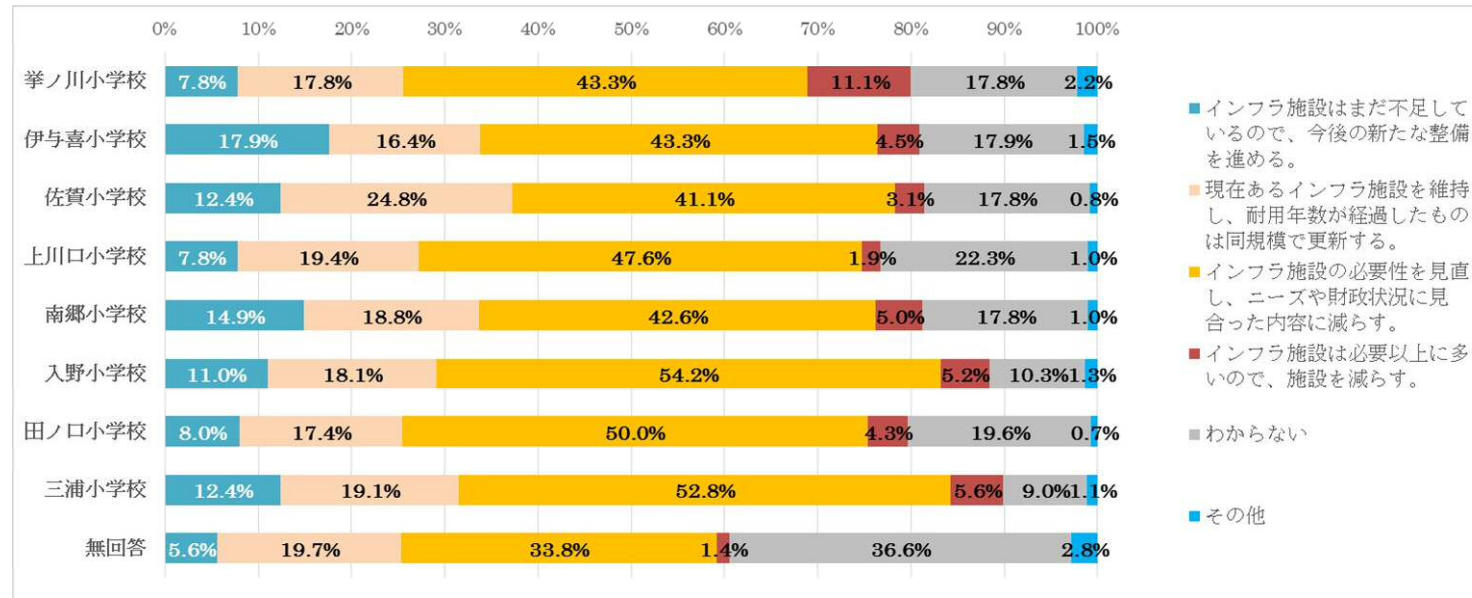
(2) インフラ施設の整備のクロス集計（問4）

【問4】インフラ施設の整備については、今後どのように進めていくべきだと思いますか。【1つに○】

【居住地別】

○インフラ施設でも校區別意向に大きな違いは見られませんが、伊与喜・南郷小学校区では「現況でインフラ施設が不足しており新規整備が必要」、佐賀小学校区では「現在規模の維持」、また拳ノ川小学校区では「現状でも必要以上に多いため減らす」という意見が比較的多くなっています。

施設分類	拳ノ川小学校		伊与喜小学校		佐賀小学校		上川口小学校		南郷小学校		入野小学校		田ノ口小学校		三浦小学校		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
インフラ施設はまだ不足しているので、今後の新たな整備を進める。	7	7.8%	12	17.9%	16	12.4%	8	7.8%	15	14.9%	17	11.0%	11	8.0%	11	12.4%	4	5.6%
現在あるインフラ施設を維持し、耐用年数が経過したものは同規模で更新する。	16	17.8%	11	16.4%	32	24.8%	20	19.4%	19	18.8%	28	18.1%	24	17.4%	17	19.1%	14	19.7%
インフラ施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。	39	43.3%	29	43.3%	53	41.1%	49	47.6%	43	42.6%	84	54.2%	69	50.0%	47	52.8%	24	33.8%
インフラ施設は必要以上に多いので、施設を減らす。	10	11.1%	3	4.5%	4	3.1%	2	1.9%	5	5.0%	8	5.2%	6	4.3%	5	5.6%	1	1.4%
わからない	16	17.8%	12	17.9%	23	17.8%	23	22.3%	18	17.8%	16	10.3%	27	19.6%	8	9.0%	26	36.6%
その他	2	2.2%	1	1.5%	1	0.8%	1	1.0%	1	1.0%	2	1.3%	1	0.7%	1	1.1%	2	2.8%
有効回答数	90	100.0%	67	100.0%	129	100.0%	103	100.0%	101	100.0%	155	100.0%	138	100.0%	89	100.0%	71	100.0%
無回答	3	-	0	-	3	-	3	-	1	-	4	-	4	-	0	-	2	-
合計	93	-	67	-	132	-	106	-	102	-	159	-	142	-	89	-	73	-



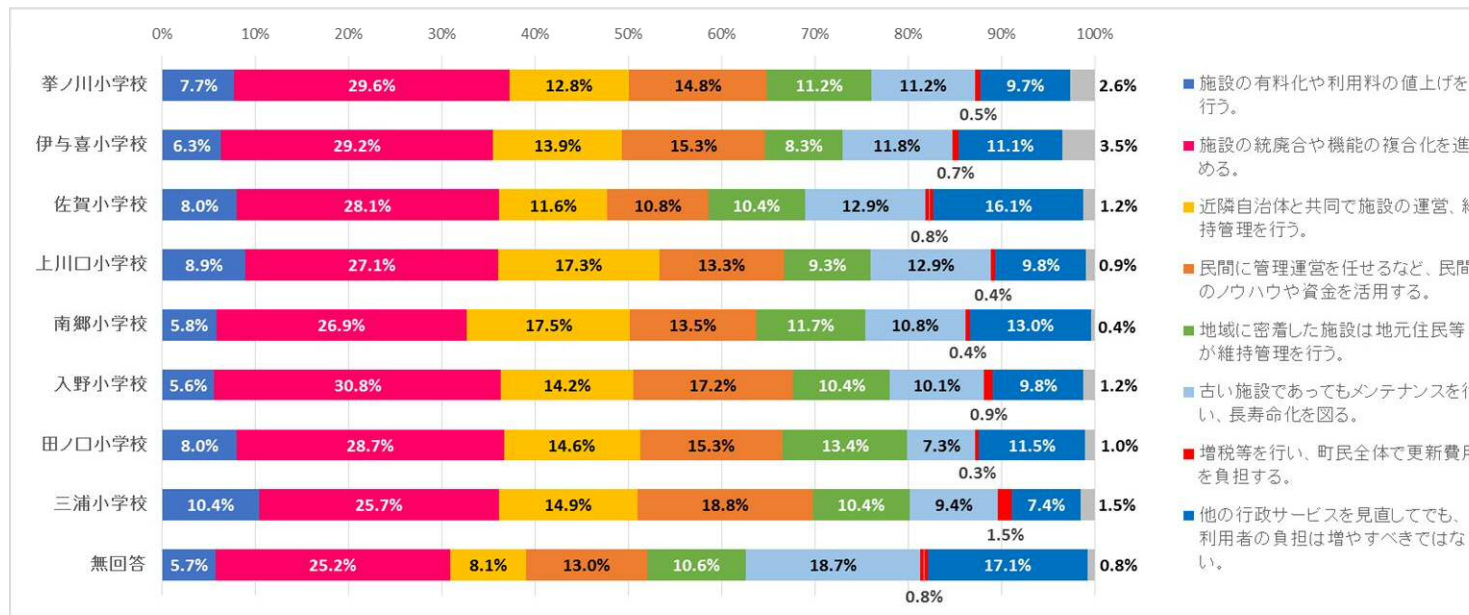
(3) 財政が不足した場合の対処法についてのクロス集計（問5）

【問5】公共建築物・インフラ施設の維持更新費用の増大が予測される中で、財源が不足する場合、どうすればよいと思われますか。【3つまで○】

【居住地別】

○校區別意向に大きな違いは見られませんが、上川口・南郷小学校区では「近隣自治体と共同での運営・維持管理」、入野・三浦小学校区では「民間のノウハウや資金の活用」、また佐賀小学校区では「利用者の負担を増やすべきではない」という意見が比較的多くなっています。

施設分類	拳ノ川小学校		伊与喜小学校		佐賀小学校		上川口小学校		南郷小学校		入野小学校		田ノ口小学校		三浦小学校		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
施設の有料化や利用料の値上げを行う。	15	7.7%	9	6.3%	20	8.0%	20	8.9%	13	5.8%	19	5.6%	25	8.0%	21	10.4%	7	5.7%
施設の統廃合や機能の複合化を進める。	58	29.6%	42	29.2%	70	28.1%	61	27.1%	60	26.9%	104	30.8%	90	28.7%	52	25.7%	31	25.2%
近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う。	25	12.8%	20	13.9%	29	11.6%	39	17.3%	39	17.5%	48	14.2%	46	14.6%	30	14.9%	10	8.1%
民間に管理運営を任せするなど、民間のノウハウや資金を活用する。	29	14.8%	22	15.3%	27	10.8%	30	13.3%	30	13.5%	58	17.2%	48	15.3%	38	18.8%	16	13.0%
地域に密着した施設は地元住民等が維持管理を行う。	22	11.2%	12	8.3%	26	10.4%	21	9.3%	26	11.7%	35	10.4%	42	13.4%	21	10.4%	13	10.6%
古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る。	22	11.2%	17	11.8%	32	12.9%	29	12.9%	24	10.8%	34	10.1%	23	7.3%	19	9.4%	23	18.7%
増税等を行い、町民全体で更新費用を負担する。	1	0.5%	1	0.7%	2	0.8%	1	0.4%	1	0.4%	3	0.9%	1	0.3%	3	1.5%	1	0.8%
他の行政サービスを見直しても、利用者の負担は増やすべきではない。	19	9.7%	16	11.1%	40	16.1%	22	9.8%	29	13.0%	33	9.8%	36	11.5%	15	7.4%	21	17.1%
その他	5	2.6%	5	3.5%	3	1.2%	2	0.9%	1	0.4%	4	1.2%	3	1.0%	3	1.5%	1	0.8%
有効回答数	196	100.0%	144	100.0%	249	100.0%	225	100.0%	223	100.0%	338	100.0%	314	100.0%	202	100.0%	123	100.0%
合計	196	-	144	-	249	-	225	-	223	-	338	-	314	-	202	-	123	-



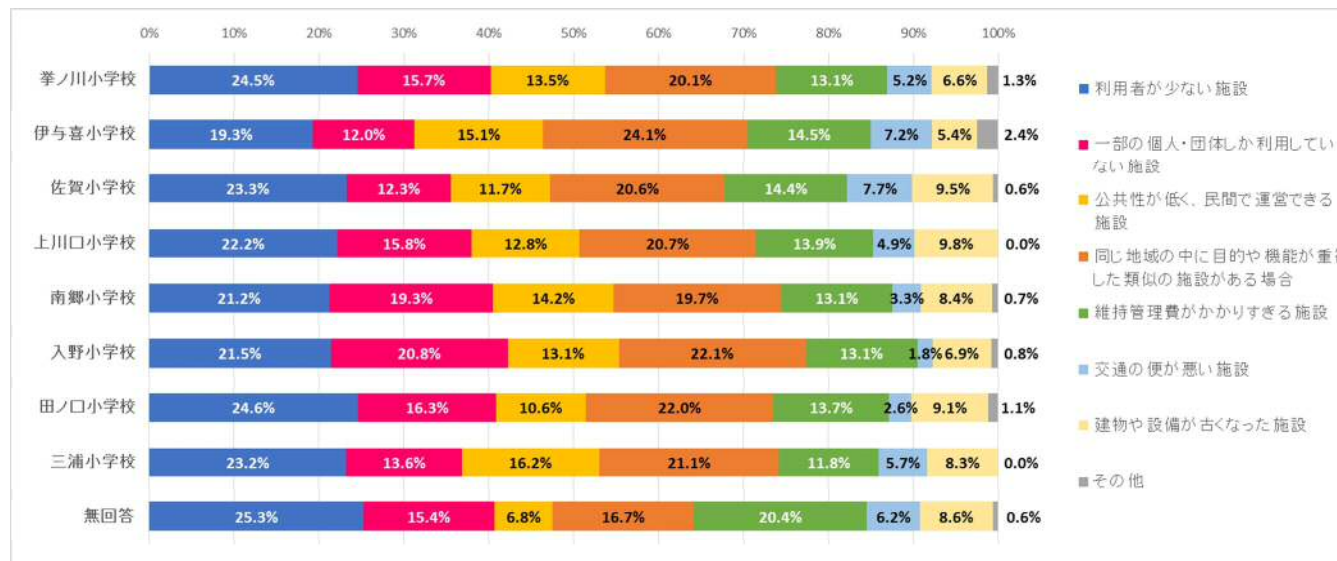
(4) 施設を減らす場合の検討についてのクロス集計（問6）

【問6】 今後、公共建築物にかかる維持更新費用をさらに削減するために、施設を減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から検討していけばよいと思われますか。【3つまで○】

【居住地別】

○減らすべき施設についても校区別で意向に大きな差はなく「利用者が少ない施設」や「同地域内に類似施設がある場合」という回答の割合が多くなっていますが、南郷・入野小学校区では「一部の個人・団体しか利用していない施設」、伊与喜・佐賀小学校区では「交通の便が悪い施設」という意見が比較的多くなっています。

施設分類	拳ノ川小学校		伊与喜小学校		佐賀小学校		上川口小学校		南郷小学校		入野小学校		田ノ口小学校		三浦小学校		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用者が少ない施設	56	24.5%	32	19.3%	76	23.3%	59	22.2%	58	21.2%	84	21.5%	86	24.6%	53	23.2%	41	25.3%
一部の個人・団体しか利用していない施設	36	15.7%	20	12.0%	40	12.3%	42	15.8%	53	19.3%	81	20.8%	57	16.3%	31	13.6%	25	15.4%
公共性が低く、民間で運営できる施設	31	13.5%	25	15.1%	38	11.7%	34	12.8%	39	14.2%	51	13.1%	37	10.6%	37	16.2%	11	6.8%
同じ地域の中に目的や機能が重複した類似の施設がある場合	46	20.1%	40	24.1%	67	20.6%	55	20.7%	54	19.7%	86	22.1%	77	22.0%	48	21.1%	27	16.7%
維持管理費がかかりすぎる施設	30	13.1%	24	14.5%	47	14.4%	37	13.9%	36	13.1%	51	13.1%	48	13.7%	27	11.8%	33	20.4%
交通の便が悪い施設	12	5.2%	12	7.2%	25	7.7%	13	4.9%	9	3.3%	7	1.8%	9	2.6%	13	5.7%	10	6.2%
建物や設備が古くなった施設	15	6.6%	9	5.4%	31	9.5%	26	9.8%	23	8.4%	27	6.9%	32	9.1%	19	8.3%	14	8.6%
その他	3	1.3%	4	2.4%	2	0.6%	0	0.0%	2	0.7%	3	0.8%	4	1.1%	0	0.0%	1	0.6%
有効回答数	229	100.0%	166	100.0%	326	100.0%	266	100.0%	274	100.0%	390	100.0%	350	100.0%	228	100.0%	162	100.0%
合計	229	-	166	-	326	-	266	-	274	-	390	-	350	-	228	-	162	-





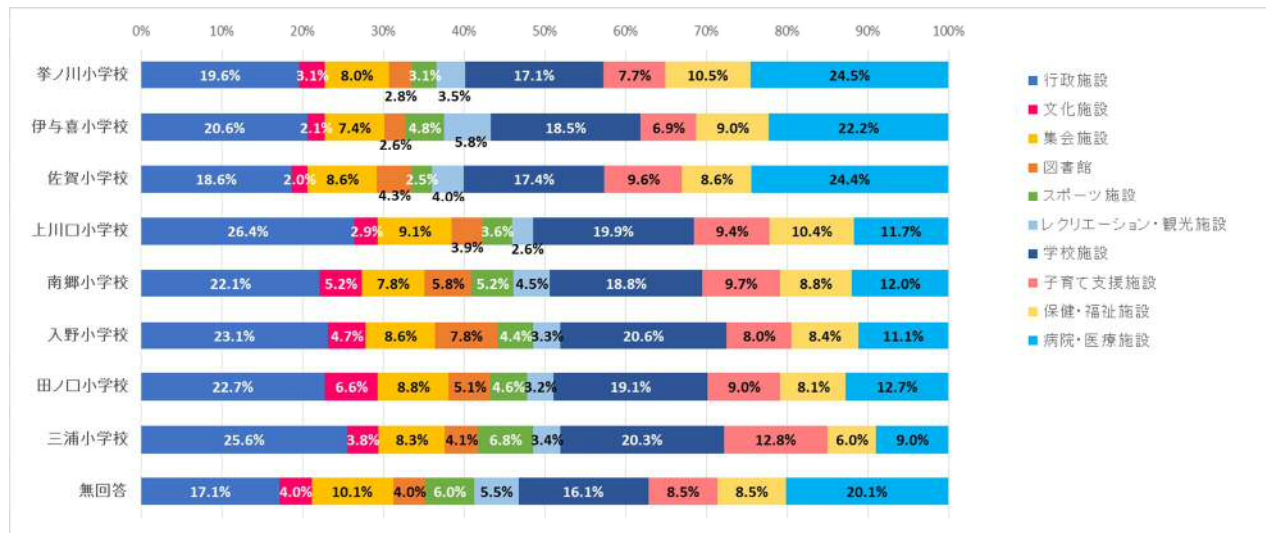
(5) 重要であると思われる公共建築物についてのクロス集計（問6）

【問7】あなたが特に重要である（今後も残していくべきである）と思われる公共建築物について、下表の施設分類の中から選択してください。【3つまで○】

【居住地別】

○特に重要であるとされる公共建築物を見ると、拳ノ川・伊与喜・佐賀小学校区では「病院・医療施設」が最も多くなっていますが、他の小学校区では「行政施設」と回答した方の割合が最も多くなっています。

施設分類	拳ノ川小学校		伊与喜小学校		佐賀小学校		上川口小学校		南郷小学校		入野小学校		田ノ口小学校		三浦小学校		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
行政施設	56	19.6%	39	20.6%	74	18.6%	81	26.4%	68	22.1%	104	23.1%	93	22.7%	68	25.6%	34	17.1%
文化施設	9	3.1%	4	2.1%	8	2.0%	9	2.9%	16	5.2%	21	4.7%	27	6.6%	10	3.8%	8	4.0%
集会施設	23	8.0%	14	7.4%	34	8.6%	28	9.1%	24	7.8%	39	8.6%	36	8.8%	22	8.3%	20	10.1%
図書館	8	2.8%	5	2.6%	17	4.3%	12	3.9%	18	5.8%	35	7.8%	21	5.1%	11	4.1%	8	4.0%
スポーツ施設	9	3.1%	9	4.8%	10	2.5%	11	3.6%	16	5.2%	20	4.4%	19	4.6%	18	6.8%	12	6.0%
レクリエーション・観光施設	10	3.5%	11	5.8%	16	4.0%	8	2.6%	14	4.5%	15	3.3%	13	3.2%	9	3.4%	11	5.5%
学校施設	49	17.1%	35	18.5%	69	17.4%	61	19.9%	58	18.8%	93	20.6%	78	19.1%	54	20.3%	32	16.1%
子育て支援施設	22	7.7%	13	6.9%	38	9.6%	29	9.4%	30	9.7%	36	8.0%	37	9.0%	34	12.8%	17	8.5%
保健・福祉施設	30	10.5%	17	9.0%	34	8.6%	32	10.4%	27	8.8%	38	8.4%	33	8.1%	16	6.0%	17	8.5%
病院・医療施設	70	24.5%	42	22.2%	97	24.4%	36	11.7%	37	12.0%	50	11.1%	52	12.7%	24	9.0%	40	20.1%
有効回答数	286	100.0%	189	100.0%	397	100.0%	307	100.0%	308	100.0%	451	100.0%	409	100.0%	266	100.0%	199	100.0%
合計	286	-	189	-	397	-	307	-	308	-	451	-	409	-	266	-	199	-



## 3. 2 年齢別集計

## (1) 公共建築物の整備のクロス集計（問3）

【問3】 少子高齢化が進み、町財政が厳しくなる一方で、今ある公共施設等をすべて維持していくためには今後より多くの費用が必要となることを見込まれます。このような状況をふまえて、公共建築物の整備は、今後どのように進めていくべきだと思いますか。【1つに○】

## 【年代別】

○公共建築物の今後の整備について、年代別で大きな意向の違いは見られず「今後のニーズや財政状況に見合った内容に減らす」という回答が多数を占めていますが、若い世代ほど「現況では不足している」という回答が多く、年代が上がるほど「現況規模の維持」への回答の割合が多くなっています。

施設分類	18～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
公共建築物はまだ不足しているので、今後の新たな整備を進める。	5	4.7%	6	2.3%	6	1.1%	0	0.0%
現在ある公共建築物を維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建替える。	10	9.3%	28	10.6%	76	13.5%	1	5.6%
公共建築物の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。	71	66.4%	184	70.0%	338	60.2%	10	55.6%
公共建築物は必要以上に多いので、施設を減らす。	6	5.6%	16	6.1%	40	7.1%	1	5.6%
わからない	12	11.2%	19	7.2%	91	16.2%	5	27.8%
その他	3	2.8%	10	3.8%	10	1.8%	1	5.6%
有効回答数	107	100.0%	263	100.0%	561	100.0%	18	100.0%
無回答	0	-	1	-	12	-	1	-
合計	107	-	264	-	573	-	19	-



## (2) インフラ施設の整備のクロス集計（問4）

【問4】インフラ施設の整備については、今後どのように進めていくべきだと思いますか。【1つに○】

## 【年代別】

○インフラ施設の今後の整備についても、すべての年代別で「今後のニーズや財政状況に見合った内容に減らす」という回答が半数近くを占めていますが、40～59歳の年代で「現況では不足している」という回答が多く見られます。

施設分類	18～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
インフラ施設はまだ不足しているので、今後の新たな整備を進める。	9	8.4%	44	16.7%	48	8.7%	0	0.0%
現在あるインフラ施設を維持し、耐用年数が経過したものは同規模で更新する。	25	23.4%	48	18.3%	104	18.8%	4	21.1%
インフラ施設の必要性を見直し、ニーズや財政状況に見合った内容に減らす。	51	47.7%	123	46.8%	254	45.8%	9	47.4%
インフラ施設は必要以上に多いので、施設を減らす。	3	2.8%	15	5.7%	26	4.7%	0	0.0%
わからない	18	16.8%	32	12.2%	113	20.4%	6	31.6%
その他	1	0.9%	1	0.4%	9	1.6%	0	0.0%
有効回答数	107	100.0%	263	100.0%	554	100.0%	19	100.0%
無回答	0	-	1	-	19	-	0	-
合計	107	-	264	-	573	-	19	-





(3) 財政が不足した場合の対処法についてのクロス集計（問5）

【問5】公共建築物・インフラ施設の維持更新費用の増大が予測される中で、財源が不足する場合、どうすればよいと思われますか。【3つまで○】

【年代別】

○財源が不足する場合については、若い世代ほど「施設の統廃合や複合化」への回答割合が多く、年代が上がるにつれ「地元での維持管理」への回答割合が多くなっています。

施設分類	18～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
施設の有料化や利用料の値上げを行う。	22	9.3%	42	7.6%	82	6.9%	3	9.1%
施設の統廃合や機能の複合化を進める。	74	31.2%	167	30.0%	318	26.8%	9	27.3%
近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う。	36	15.2%	79	14.2%	170	14.3%	1	3.0%
民間に管理運営を任せるなど、民間のノウハウや資金を活用する。	36	15.2%	93	16.7%	164	13.8%	5	15.2%
地域に密着した施設は地元住民等が維持管理を行う。	14	5.9%	50	9.0%	150	12.6%	4	12.1%
古い施設であってもメンテナンスを行い、長寿命化を図る。	19	8.0%	55	9.9%	144	12.1%	5	15.2%
増税等を行い、町民全体で更新費用を負担する。	4	1.7%	4	0.7%	6	0.5%	0	0.0%
他の行政サービスを見直しても、利用者の負担は増やすべきではない。	28	11.8%	57	10.3%	141	11.9%	5	15.2%
その他	4	1.7%	9	1.6%	13	1.1%	1	3.0%
有効回答数	237	100.0%	556	100.0%	1188	100.0%	33	100.0%
合計	237	-	556	-	1188	-	33	-



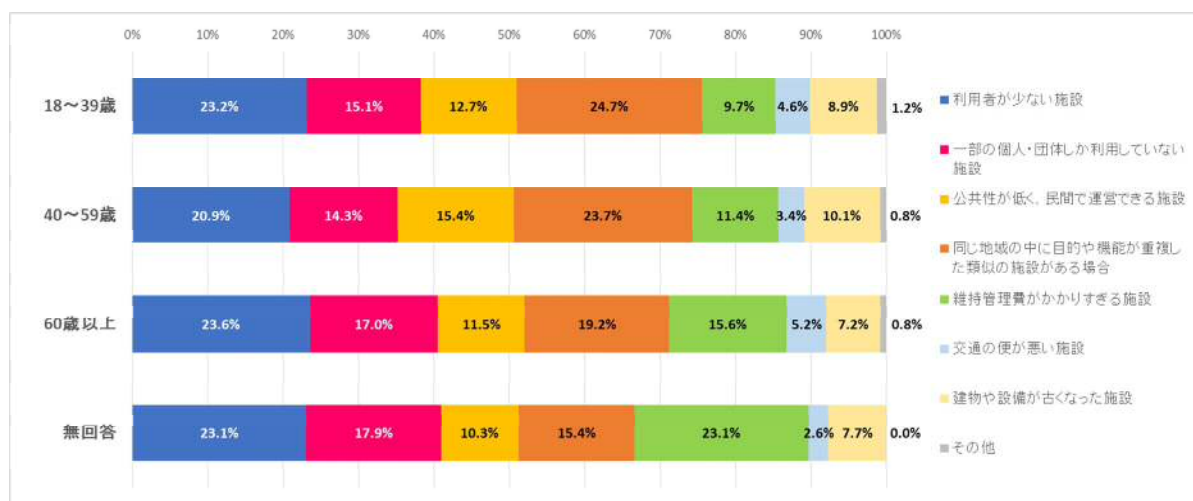
## (4) 施設を減らす場合の検討についてのクロス集計（問6）

【問6】 今後、公共建築物にかかる維持更新費用をさらに削減するために、施設を減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から検討していけばよいと思われますか。【3つまで〇】

## 【年代別】

○今後の削減検討対象施設については、18～59歳の年代では「同地域内の類似施設」が最も多くなっていますが、60歳以上では「利用者が少ない施設」が最も多くなっており、また、「維持管理費がかかりすぎる施設」への回答割合も高くなっています。

施設分類	18～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
利用者が少ない施設	60	23.2%	134	20.9%	342	23.6%	9	23.1%
一部の個人・団体しか利用していない施設	39	15.1%	92	14.3%	247	17.0%	7	17.9%
公共性が低く、民間で運営できる施設	33	12.7%	99	15.4%	167	11.5%	4	10.3%
同じ地域の中に目的や機能が重複した類似の施設がある場合	64	24.7%	152	23.7%	278	19.2%	6	15.4%
維持管理費がかかりすぎる施設	25	9.7%	73	11.4%	226	15.6%	9	23.1%
交通の便が悪い施設	12	4.6%	22	3.4%	75	5.2%	1	2.6%
建物や設備が古くなった施設	23	8.9%	65	10.1%	105	7.2%	3	7.7%
その他	3	1.2%	5	0.8%	11	0.8%		0.0%
有効回答数	259	100.0%	642	100.0%	1451	100.0%	39	100.0%
合計	259	-	642	-	1451	-	39	-



## (5) 重要であると思われる公共建築物についてのクロス集計（問6）

【問7】あなたが特に重要である（今後も残していくべきである）と思われる公共建築物について、下表の施設分類の中から選択してください。【3つまで〇】

## 【年代別】

〇特に重要であると考えられる公共建築物については、すべての年代で「行政施設」「学校施設」「病院・医療施設」への回答が多くなっていますが、その他の傾向として、若い年代ほど「レクリエーション・観光施設」や「子育て支援施設」への回答が多く、年代が上がるほど「集会施設」への回答が多くなっています。

施設分類	18～39歳		40～59歳		60歳以上		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
行政施設	66	21.0%	173	21.5%	369	22.6%	9	14.5%
文化施設	8	2.5%	39	4.9%	62	3.8%	3	4.8%
集会施設	14	4.5%	45	5.6%	175	10.7%	6	9.7%
図書館	21	6.7%	47	5.8%	65	4.0%	2	3.2%
スポーツ施設	14	4.5%	53	6.6%	54	3.3%	3	4.8%
レクリエーション・観光施設	19	6.1%	39	4.9%	46	2.8%	3	4.8%
学校施設	69	22.0%	157	19.5%	290	17.8%	13	21.0%
子育て支援施設	40	12.7%	84	10.4%	127	7.8%	5	8.1%
保健・福祉施設	15	4.8%	61	7.6%	162	9.9%	6	9.7%
病院・医療施設	48	15.3%	106	13.2%	282	17.3%	12	19.4%
有効回答数	314	100.0%	804	100.0%	1632	100.0%	62	100.0%
合計	314	-	804	-	1632	-	62	-

